

決済・金融事業

クレジットカード会社の枠を超え、 体験価値を高めています。



JFRカード株式会社
代表取締役社長
大木 淳史

JFRカードの強みと伸びしろ

私はパルコに入社後、店舗運営に長く携わったのち、2026年3月にJFRカード社の社長に就任しました。以前は、広くグループ各社に決済機能を提供していることが当社の強みだと思っていましたが、実際に当社に来てみて感じるのは、「多様なお客様と多様な接点を持っていること」こそが当社の強みだということです。

当社グループには複数のリテール事業会社があり、それぞれにお客様がいらっしゃいます。また、流通系のクレジットカード会社のため、グループ内商業施設の店頭やウェブを通じたお取引、各種イベントなど多様な顧客接点があり、いろいろなアプローチをすることで、ビジネスチャンスを見出すことが可能です。他方、各事業会社が独立して運営しているがゆえに、お客様にとってはグループ各社での個々のお取引が一連の体験価値として受け取りにくい、という点は課題だと思います。

現中期経営計画最終年度の挑戦

2025年にPARCOカード、博多大丸孔雀カードを新規発行し、中期経営計画に基づくグループ内のカード発行業務の集約が完了しました。2025年度は、これらの新カード発行に伴う費用増により、事業利益が10億円を割り込む結果となりましたが、収益基盤は着実に強化できました。現中期経営計画最終年度の重点課題としては、まず事業利益目標20億円の達成。外部競争環境や経費上昇圧力を考えると、決して簡単なハードルではありませんが、何としてもやり遂げたいと考えています。

ポイントは、お客様の声にお応えしながら取扱高を増やしていくことです。グループのリテール事業は堅調に売り上げが伸びており、カード利用の拡大が期待できます。また、当社の取扱高の5割超を占め、収益力の高いグループ外利用はさらに伸ばしていきたい。ファイナンス債権残高も増加基調が続いていますので、ファイナンス手数料収入の拡大余地もあります。

次期中期経営計画に向け、持続的な成長を図るための戦略を策定することも、2026年度の重要な課題です。キーワードは「お客様の体験価値向上」です。今までは決済基盤を提供する会社でしたが、これからは顧客接点を提供する会社を目指したい。グループのリアル・デジタルに点在している顧客接点を単発の接点ではなく、例えばポイント連携などでJFRカードがつなぎ合わせ、一連の体験として設計することで、お客様の体験価値をもっと高めていけると考えています。また、店頭にお越しの購買顧客だけでなく、店舗に入居するお取引先やカード加盟店などの取引顧客も含め、当社顧客に対して提供できる価値はもっとあるはずです。

新たな発想と価値の創出

私はパルコ出身者として初めて、JFRカード社に入りました。当社は、銀行や他のクレジットカード会社などでキャリアを積んだ専門人材が多いのですが、グループ人材交流を促進し、もっと多様な人材が目標に向けワンチームで議論していけば、今までにない新たな発想が生まれてくると信じています。

「JFRカードは、金融の文字通りに『資金』を融通するだけではなく、『価値』を融通する」。グループの豊富なリソースを活かして、クレジットカード会社の枠を超えた新たな価値の創造を目指していきます。



新規事業紹介

リユース事業

「ときめき」が巡り、循環し続ける未来へ ブランド買取専門店「MEGRÜS(めぐらす)」

J.フロントリテイリングは、サステナビリティ経営を推進するうえで、サーキュラー・エコノミーへの貢献を重要なテーマと認識しています。その具体的な取り組みの一つとして、当社は2024年度からリユース事業(買い取り)に参入し、2025年3月、(株)コメ兵と合弁会社(JV)「(株)JFR & KOMEHYO PARTNERS」を設立しました。両社は、価値あるものが人から人へ受け継がれ、それが「文化」として定着することが、豊かなくらしづくりと持続可能な社会の実現に貢献するものと考え、当JVを通じて取り組んでいます。

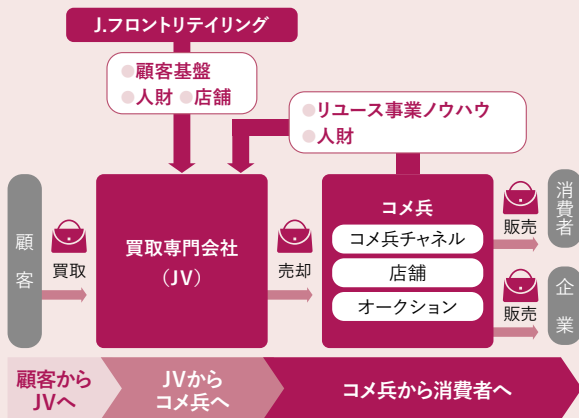
お客様との新たな接点となる店舗名は「MEGRÜS」。お客様よりブランド品などを買い取り、コメ兵へ全量卸売りしています。2025年度は、8月の松坂屋名古屋店を皮切りに、大丸・松坂屋・PARCOの店舗内に8店舗を出店しました。百貨店の外商員を帯同した買取件数や買取客単価が目標を上回るなど、初年度の買取総額は当初計画通りに進捗しており、一定の手応えを得られています。2026年度は外商員との連携強化や、当社グループ内のMEGRÜS未出店店舗への期間限定出店などに注力しています。

同社で循環させるものは、資源であると同時に「ときめき」でもあります。単にモノを買い取るだけでなく、お客様がときめきを感じ、楽しみながら、サーキュラー・エコノミーの輪に自然と参加できるようなサービスを提供していきます。



MEGRÜS 大丸東京店

MEGRÜS 大丸福岡天神店
©グレアフォト横山隆俊



グループ企業一覧 (2026年5月31日現在)

百貨店事業

株式会社大丸松坂屋百貨店 (百貨店事業)
株式会社博多大丸 (百貨店事業)
株式会社高知大丸 (百貨店事業)
株式会社心齋橋共同センタービルディング (百貨店の不動産管理業)
株式会社 ANNIVEL (百貨店オリジナル洋菓子販売業)

SC事業

株式会社パルコ (ショッピングセンター事業)
株式会社パルコデジタルマーケティング (インターネット関連事業)
PARCO (Singapore) Pte Ltd (ショッピングセンター事業)

デベロッパー事業

J.フロント都市開発株式会社 (不動産業)
株式会社J.フロントプライムスペース (内装事業・施設事業)

決済・金融事業

JFRカード株式会社 (決済・金融事業)

その他

大丸興業株式会社 (卸売業)
大丸興業国際貿易 (上海) 有限公司 (卸売業)
大丸興業 (タイランド) 株式会社 (卸売業)
株式会社消費科学研究所 (商品試験業・品質管理業)
株式会社エンゼルパーク (駐車場業)
株式会社J.フロントONEパートナー (事務処理業務受託業・リース業)
株式会社JFR情報センター (情報サービス業)
株式会社大丸松坂屋友の会 (前払式特定取引業)
株式会社XENOS (eスポーツ事業)
株式会社JFR & KOMEHYO PARTNERS (ブランド品等の買取事業)